



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R4 CS通信No.10 R4.9.15



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 学校運営協議会委員による学校訪問(鯨ヶ沢中・西海小)

9月5日(月)、鯨ヶ沢中学校で、学校運営協議会委員による学校訪問がありました。

学校訪問は、学校生活における児童生徒の実態を把握すること、学校運営についての説明を聞いたり、意見交換したりすることによって、教育活動に対する理解を深め、今後の委員活動に役立てることを目的に、各校毎年1回ずつ行っています。

初めに、校長先生、教頭先生、教務主任の葛西先生から、鯨ヶ沢中学校の学校運営、方針等の説明がありました。

鯨ヶ沢中学校では、「心を磨く3活動」の一つとしてあいさつ運動に力を入れています。

特徴的なのは、「相手よりも先に」「相手よりも元気に」「相手と目を合わせて」という「あいさつ3原則」を励行しているところです。

あいさつができるだけでなく、どのようにあいさつすれば良いのか、具体的に指導しているところが生徒にとっては、わかりやすいと思いました。実際に授業前の休み時間に、元気よくあいさつする生徒がたくさんいて、指導が行き届いているなと思いました。

授業参観では、全学年全学級の授業を見せてもらいました。中学生になると、落ち着いて学習に取り組み、自分の考えをしっかりとって授業に臨んでいるところは、すばらしいと思いました。



主体的に考え、行動する生徒の育成をめざして全校で取り組んでいる「ディスカッション・トレーニング」の成果も出ているなと感じました。

9月13日(火)、西海小学校で、学校運営協議会委員による学校訪問がありました。

西海小学校では、相手を思いやる心を育成するために、「あいさつで学校や鯨ヶ沢を元気にしよう」と『全校で一日1000人へあいさつ!』に取り組んでいます。児童と職員が一人で12人に“おはよう”、“こんにちは”、“さようなら”等のあいさつをすれば、目標を達成できるということで、毎日頑張っているそうです。

また、分かる授業、一人一人を生かした授業、あいさつ運動、修学旅行、宿泊学習、マラソン記録会等を通して自己有用感を育てているという説明がありました。

西海小学校では、先週の7日(水)から9日(金)まで、6年生の修学旅行がありました。説明をよく聞いていること、説明に対して反応が良いということで、バスガイドやレストランの担当の人にたくさん褒められて帰ってきたそうです。日常の取り組みが実を結んだ例だと思いました。

授業を参観してみると、どの学級でも、友だちの発表や先生の説明をよく聞いて、良く反応して、一生懸命、学習に取り組んでいました。

鯨ヶ沢高校教諭の奈良委員からは、「学年に応じた指導がされている。早く終わった児童が、みんなが終わるまで静かに待っていて感心した。」という褒めの言葉がありました。



舞戸小学校への学校訪問は、11月に延期となりました。次号以降でお知らせします。